

熊谷、深谷、寄居の小学校が来年から使う、
「教育出版の道徳教科書」って
どんな問題があるの？

◇とき **10月7日(土)**

9:30受付 10:00開会

◇ところ **大里教育会館** (会場地図は裏面)

◇講師 **大沢進一** さん

元小学校教諭・白梅学園大学非常勤講師
さいたま教育文化研究所所員

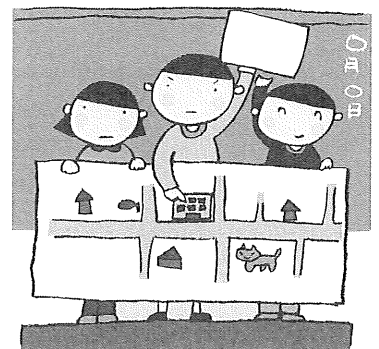
2018年度から小学校で、2019年度から中学校で、道徳が「教科」になり、「評価」も行われます。

7月末に小学校の道徳教科書の採択が行われましたが、熊谷市、深谷市・寄居町の両採択区では、8社の教科書のうち、『教育出版の道徳教科書』を採択しました。同社の『道徳教科書』については、その編著者や内容をめぐって、いくつもの問題が指摘されています。どんな内容が扱われていて、どんな問題が指摘されているのでしょうか？ 一例をあげると、2年生の教科書の「国旗や国歌を大切に作る気もちのあらわし方」では、「①き立して国旗にたいしてしせいを正し、ぼうしをとって、れいをします。②国家がながれたら、みんなでいっしょに歌います」と教えています。日の丸、君が代については、市民的見解が分かれています。一方の見解を道徳教科書に載せるのは無理があるのではないのでしょうか？

今後学校教育全体(小・中・高)で行われる「道徳教育」がどうなるか、共に学び、そのあり方を考えていきましょう。教育関係者はもちろん、多くの保護者、一般市民のみなさんも誘い合ってご参加ください。

**緊急
学習会**

□どなたでも
参加できます。
〈参加費無料〉



《主催》子どもと教育・文化を守る北部地域連絡会議

連絡先 大里教育会館内 埼教組大里・児玉支部 (TEL 048-523-4149)